

【佳作】

「遊ばせる」の変遷について

国際日本学部 日本文化学科 4年
藪下 明日美

1. はじめに

「遊ばせる」という言葉がある。これは、動詞の「遊ぶ」を使役の助動詞である「せる」で活用した言葉である。「遊ばせる」という言葉はその構成から鑑みるに、「子どもを遊ばせる」といった意味での使用が自然であるはずだ。しかし、「遊ばせる」はこれらの意味とは異なる形で使用されることがしばしばある。

本稿では、「遊ばせる」という言葉について、どのような形で意味合いに変化が訪れたのか、具体的にいつ頃変化が訪れたのか調査し、考察する。以下、2章では「遊ばせる」が持っている複数の意味について資料を用いて述べ、3章では本稿の調査対象や選定基準を記し、4章では実際に「遊ばせる」の使われる傾向の実態を調査し分析を行い、5章で「遊ばせる」の意味の変遷について考察を行い、6章では本稿のまとめと今後の課題について記したい。なお、本稿では調査にあたって、検索コーパス「ひまわり」の「青空文庫」と「国会会議録」、国立国会研究所の中納言コーパスの「日本語歴史コーパス(CHJ)」等を資料として使用した。

2. 「遊ばせる」の意味

本章では、まず「遊ばせる」が持っている意味を複数示したい。先述した通り、「遊ばせる」は動詞の「遊ぶ」を使役の助動詞の「せる」で活用した言葉である。

『日本国語大辞典』に記されている「遊ぶ」の意味は以下の通りである。

遊ぶ

- 〔一〕 興のおもむくままに行動して楽しむ。神事に伴う舞楽を行なうことがもとといわれるが、広く楽しむ行動をいうようになり、現代では、多く子どもが遊戯する、おとなが運動、行楽、遊興などすることをいう。
- 〔二〕 仕事、勉強、働きなど、期待される生産的効果を果していない状態にある。

このように、「遊ぶ」という言葉はふたつの意味を持っている。〔一〕の意味は私たちが最も想像しやすい「遊ぶ」のイメージではないだろうか。時代にかかわらず、人が何らかの享楽に取り組むという意味合いを持っている。〔二〕の意味の「遊ぶ」は、「息子は（仕事をせずに）遊んでばかりいる」といったように使われる。特に現在では、人が仕事や勉強に取り組まないという使い方をされることが多く感じられる。

では、これと比較して「遊ばせる」はどういった意味を持っているのだろうか。以下は『日本国語大辞典』に記された「遊ばせる」の意味である。

遊ばせる

- 〔一〕 金や道具などを使わないでおく。
- 〔二〕 (心などを) 楽しませる。

このように、「遊ばせる」には「子どもを遊ばせる」といった意味以外のものが存在している。〔一〕の意味は「遊ぶ」の〔二〕の意味に使役が加わったものであるが、それぞれ対象には異なる特色が認められる。例えば、「遊ぶ」対象が息子の場合、「息子が遊ぶ」も「息子を遊ばせる」も自然である。一方、「遊ぶ」対象が土地である場合、「土地を遊ばせる」

にはある程度聞き馴染みがあるが、「土地が遊ぶ」はあまり使われない印象がある。

また、『日本国語大辞典』に掲載されている以外にも、「遊ばせる」は独自に発展しているのではないかと考える。「毛先を遊ばせる」という表現を聞いたことがあるだろうか。「毛先に自由な動きを与える」といった意味で用いられる表現である。ここでの「遊ぶ」は本来の「遊ぶ」とは異なった意味で使用されているのがわかる。

このように、「遊ぶ」と「遊ばせる」の間には、使役の有無だけではない違いが発生している。では、具体的にはどのような経緯で、「遊ばせる」の意味に変化が生まれたのだろうか。

3. 本稿の調査対象、選定基準

本章では、実際の調査結果に触れる前に、本稿の調査に用いたそれぞれの資料について、選定方法やその基準について述べたい。

まずは、検索方法、資料を用いた目的について、それぞれの資料別で記す。

検索コーパス「ひまわり」による「青空文庫」の検索については、「遊ばせ」のみの検索で十分な文献数があったため、そちらに絞って調査を行った。「青空文庫」は著作権の期限経過した文学作品が収められている為、最も新しい文献でも70年以上前の作品になる。70年以上前の資料を参考にする目的で調査に用いた。一方、「国会会議録」では「遊ばせる」「遊ばす」の活用した形を含め全ての形で検索を行った。「国会会議録」は1947年から2012年の間に行われた国会における討論の記録である。近年における用例が豊富である他、正式な場で発表される丁寧な口語体での用例については調べることが可能になっている。一方で、政治について話し合う場であるが故に、使用されやすい言葉に偏りが生まれており、検索結果が大きく左右されてしまうという懸念点もある。

中納言コーパス「日本語歴史コーパス (CHJJ)」

では、平安時代から1945年頃までの様々なジャンルの文献について調査することが可能である。中納言では語彙素読みと品詞指定を用いて、「遊ばせる」「遊ばす」をそれぞれの活用を含んだ形で別々に検索を行った。

次に、「遊ばせる」という言葉において、使用されている意味を区分する基準について示したい。本稿では、「遊ばせる」について現在3つの意味で使用されていると考える。それが以下の(I)～(III)である。¹

- (I) 遊戯、運動、行楽、遊興などをさせる
- (II) 無駄にさせる
- (III) 自由自在にさせる

また、これらの「遊ばせる」の変化について更に詳しく追求するために、本稿では「遊ばせる」対象に着眼点を置きたい。これについて、対象の意志の有無で様々な変化が発生しているのではないかと考える。

本稿では、「遊ばせる」の意味の変化をこれら(I)(II)(III)の意味に分け、さらに対象となるものが意志を持つ場合を(II A)、対象となるものが意志を持たない場合を(II B)とする。以上の計4つの枠にカテゴリズを行い、その意味の変化について調査したいと考える。以下の①～④は実際の文献から引用した例である。それぞれ①が(I)、②が(II A)、③が(II B)、④が(III)の形で「遊ばせる」が用いられている。

- ①その傍では子守が子供を遊ばせてゐる。

(青空文庫 田楽豆腐 森鴎外 1912年)

- ②その優秀な施設と人材を遊ばせているということは、—— (国会会議録 衆議院本会議 岡本隆一 1969年7月12日)

- ③さらに、いたずらに土地を遊ばせておくものに対しては、空閑地税を課すること。

(国会会議録 衆議院本会議 西宮弘 1964年4月3日)

¹ 敬語の「遊ばせる」は本筋に関連性がないため除いている

- ④なぜ小さな子供になんか、手綱を持たせておいて、自分は大人の癖に、手を遊ばせてゆくのだらう、と良寛さんは、親切な牛飼を見て思った。

(青空文庫 良寛物語 手毬と鉢の子
新美南吉 1941年)

なお、様々な文献を調査するにあたっては、中には以下の⑤⑥のような例も見られた。

- ⑤政府は、みすみす貴重な人員、器材を遊ばしているということになるのであります。

(国会会議録 衆議院本会議
野原正勝 1950年4月27日)

- ⑥所謂遊ばせ言葉は、上流婦人の間でも急激に退化しつつある。

(青空文庫 風俗時評 豊島与志雄 1967年)

⑤の文では「遊ばせる」対象が複数あり、(II A)と(II B)の2つの意味で「遊ばせる」が用いられている。また、⑥の「遊ばせる」は後ろに名詞を繋げることで、それ自体が名詞化されている。これら⑤⑥のような例や、その他判断が難しいものは、(その他)と一括りにすることで分類を行った。

4. 「遊ばせる」の使用の実態

4-1. 青空文庫の「遊ばせる」

青空文庫において「遊ばせる」が使用されていた件数は370件であった。それらで使用されている「遊ばせる」の傾向は以下の表1の通りである。

【表1】青空文庫における「遊ばせる」の意味ごとの使用回数と割合

	I	II A	II B	III	その他	合計
件数(件)	235	35	25	67	22	384
割合(%) ²	61.2	9.1	6.5	17.5	5.7	100.0

このように、敬語の「遊ばせ」を除くと、凡そ過半数以上が(I)の意味で使用されていることがわかる。その一方で、(II)や(III)の意味での使用もそれぞれ決して少なくはなく、「青空文庫」の時代では3つの意味がしっかりと確立されていることがわかる。

次の⑦~⑪は、実際の資料から引用した例である。

- ⑦が(I)、⑧が(II A)、⑨が(II B)、⑩と⑪が(III)の意味で「遊ばせる」を使用している。

- ⑦めがねをかけた品のいい細君が、海軍服の男の子と小さい女の子を遊ばせている。

(青空文庫 どんぐり 寺田寅彦 1947年)

- ⑧よく働く仏蘭西の婦女の気質を見せたような主婦は決して娘を遊ばせては置かなかつた。何時来て見ても娘は店を手伝っていた。

(青空文庫 新生 島崎藤村 1919年)

- ⑨「稲田を麦作に使えないかと思ったんだ、稲を蒔ったあとの田を、半年も遊ばせておくのはもったいないんでね」

(青空文庫 艶書 山本周五郎 1954年)

- ⑩いい天気だと思って、安心して舟を遊ばせていると――

(青空文庫 大菩薩峠 中里介山 1921年)

- ⑪のぼってゆく尺八の音に乗せて、自分のたましいをも漂渺と宇宙に遊ばせるつもりで聴いていけばよい

(青空文庫 梅里先生行状記 吉川英治 1941年)

青空文庫内の実際の傾向から見て、(I)や(II)での使用に年代の偏りは見られなかった。その一方で、(II A)と(II B)の間には少し違いが見られた。(II A)は1920年代頃から偏りなく使用されているが、(II B)は1950年代から1960年代にかけて急に使用される頻度があがっていた。また、(III)の意味での使用は、1930~40年以降に増えていった印象である。⑪のように「たましいを遊ばせる」や「心を遊ばせる」といった、意志があるが形のないものを使役させる一種の比喩のような表現での使用

² 小数点第二位で四捨五入を行った

も、1940年代には既に確立されていたことがわかる。また、このころには⑪のように、「楽しませる」といった独自の意味合いを持つようになっていたことがわかる。

4-2. 国会会議録の「遊ばせる」

国会会議録における「遊ばせる」及び「遊ばす」の使用件数は210件であった。ここで使われている「遊ばせる」や「遊ばす」の意味は、以下の表2の通りである。

【表2】国会会議録における「遊ばせる」の意味ごとの使用回数

	I	II A	II B	III	その他	合計
件数(件)	28	22	153	1	7	211
割合(%) ³	13.3	10.4	72.5	0.5	3.3	100.0

国会会議録では、青空文庫とはうってかわり過半数以上が(II)の意味で使用されていた。また、(II)の中でも対象に意志がない場合の使用が殆どを占めている。国会会議録の特性上、特に土地や施設、お金、労働力等が無駄になっていることを指す場面が多いため、これほどに偏りが生まれたと考えられる。

一方で、(III)の意味での使用がほとんど見られないところも気になる点である。国会会議録の特性があるとはいえ、「自由にさせる」という表現自体を用いる場面が少ないとは考えにくい。(III)の意味が国会会議録で使用されない何らかの理由があるのだろうか。

以下の⑫～⑮はそれぞれの意味の中で最も新しい「遊ばせる」である。⑫が(I)、⑬が(II A)、⑭が(II B)、⑮が(III)の意味で用いられている。

⑫家に帰れば帰ったで、公園で遊ばせていいのかとか、砂場は大丈夫だろうかとか——

(国会会議録 衆議院予算委員会
永田研二 2012年2月27日)

⑬一方で遊ばしておいた人数の給料払って、安

くたったってこれだけマイナスになれば——

(国会会議録 参議院予算委員会
小笠原貞子 1985年4月1日)

⑭——取用した土地に十年以上の間にわたりさくをかけて、土地を遊ばせたままになっております。

(国会会議録 衆議院本会議
藤島正之 2002年2月19日)

⑮現世での生存は可能な限り簡素にして心を風雅の世界に遊ばせることを、人間としての最も高尚な生き方とする日本文化の伝統を——

(国会会議録 衆議院予算委員会
愛知和男 1997年2月17日)

この⑫～⑮からわかるように、国会会議録では近年、(I)以外の意味の「遊ばせる」が使用されなくなっている。特に、2000年以降のデータは、殆どが(I)の「遊ばせる」である。(I)以外の意味で使用される「遊ばせる」が、現在人々の認識から外れはじめているのではないかと推測出来る。

また、次の⑯のような使用例も見られた。

⑯現金預金、お金を、言葉は悪いですが、こき使うということで、遊ばせない、こういったことで取り組まれているわけですが、——

(国会会議録 衆議院予算委員会
武正公一 2011年2月2日)

⑯は、(II B)の形で「遊ばせる」が用いられている。しかし、その前に「こき使うということで」と添えることにより、より比喩表現のような形で使用がなされている。結果的に(I)や(II A)の「遊ばせる」に沿った形での使用になっている。この「遊ばせる」は、(I)から(II)、(II A)から(II B)への意味の移り変わりを推測するにあたって、非常に適した形になっているのではないだろうか。

4-3. 日本語歴史コーパス(CHJ)の「遊ばせる」

中納言の日本語歴史コーパスにおける「遊ばせる」

³ 小数点第二位で四捨五入を行った

の使用件数は合計23件、「遊ばす」の使用件数は合計247件であった。傾向は以下の表3、表4の通りである。

【表3】日本語歴史コーパスにおける「遊ばせる」の意味ごとの使用回数

	I	II A	II B	III	その他	合計
件数(件)	14	4	1	1	3	23
割合(%) ⁴	60.9	17.4	4.4	4.4	13.0	100.1

【表4】日本語歴史コーパスにおける「遊ばす」の意味ごとの使用回数

	I	II A	II B	III	その他	合計
件数(件)	178	33	9	11	16	247
割合(%) ⁵	72.1	13.4	3.6	4.5	6.5	100.1

次に、以下の⑰～⑳は「遊ばせる」が用いられた文献のうち、それぞれの意味における最も古い例である。

(I)

⑰心ときめきするもの 雀の子飼。ちご遊ばすする所の前渡る。

(CHJ 枕草子 清少納言 1001年)

(II A)

⑱私しやね、何だかさるのが否になつたから、今日は夕刻まで遊ばせて置いて下さいな。

(CHJ 今戸心中 広津柳浪 1896年)

(II B)

⑲——これに相當する綿を買ひ入れざるときは、いたづらに、機械を遊ばせおかざるべからずとして、損失を生ずることを免れざるがごとし。

(CHJ 高等小学校国語1期 文部省 1904年)

(III)

⑳自分には心を遊ばせながら、相手の懸命に企んでゐるのを——

(CHJ 太陽 正宗白鳥 1909年)

このように、それぞれの意味の最も古い例では大きな間が空いていた。青空文庫を用いた時点では、(I)と(II)の発生時期に差は見られなかったが、ここでは大きな間が空いていることがわかる。

また、(II B)と(III)の例は、今回調査したものの中でこれらが最も古い文献であった。

5. 考察

これらの調査結果により、「遊ばせる」という言葉は、(I)の意味を軸に(II)、(III)の順で使用される意味が移り変わった。また、現在は(II)と(III)が用いられなくなりはじめているのではないかと考えられる。

元来、「遊ばせる」は(I)の意味で使用がされていたが、「子どもが享楽に耽る」等といった意味から「子どもが働かない」等の意味が発生したのではないかと考えられる。ここから、(II A)の「労働力を無駄にする」といった意味に派生したのではないだろうか。

更に、元々「遊ばせる」は人等の意志を持つものを対象に使用されていた言葉であったが、(II)の「無駄にする」といった意味のなかで変化が生じ、(II B)の金銭や土地、施設等の意志を持たないものも対象とするように独自で発展したと推測される。戦後から近年にかけてはこの独自に発展した形が「遊ばせる」の持つひとつの意味合いとして定着していったと考えられる。

また、(III)の「遊ばせる」も(I)の意味から発展して生まれたものと考えられる。この意味の発生について、私は使役の助動詞「せる」が持つ意味が大きく影響を及ぼしているのではないかと

⁴ 小数点第二位で四捨五入を行った

⁵ 小数点第二位で四捨五入を行った

考える。『日本国語大辞典』に記されている助動詞「せる」の意味は以下の通りである。

せる - 助動詞⁶

使役の意を表わす。

- 〔一〕 他にその動作をさせる意、またはそのように誘発する意を表わす。
- 〔二〕 そのような動作、作用が行なわれることを許可する、またはそのまま放任する意を表わす。…のままにする。…させておく。武士ことばとして、受身の「る」の代わりに用いられることがある。
- 〔三〕 許しを依頼する意を表わす。

このように、使役の助動詞の「せる」は、動作をさせるという意味の他に、動作を許可する・放任するという意味を持っている。これまでの（Ⅰ）や（Ⅱ）の「遊ばせる」では、動作をさせる「せる」が「遊ぶ」を活用していた。しかし、（Ⅲ）の「遊ばせる」の「せる」は動作を許可する若しくは放任する「せる」なのではないだろうか。「(好きなように) 享楽に勤ませる」といったような使用から発展し、（Ⅲ）の自由自在にさせる「遊ばせる」が発生したのではないかと考察する。更に「心を遊ばせる」という表現で「楽しむ」という意味を持つようになったのも、（Ⅲ）の意味から独自に発展して生まれたのではないかと考察する。いずれも、単純に「遊ぶ」と「せる」を組み合わせるだけではなく、「遊ばせる」が独自に発展することで初めて生まれた使

用傾向なのではないだろうか。

また、これらの調査結果から、「遊ばせる」の意味の時代による変化もいくらか見えてきた。それぞれの意味の時代による変化を数直線で表したものが以下の図1である。

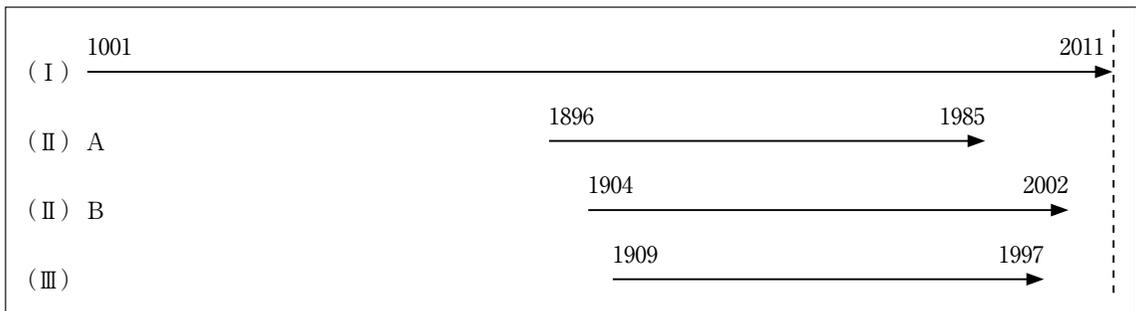
このように、元々（Ⅰ）の意味での使用だけであったが、1900年前後から意味が複数に派生している。また、（Ⅰ）以外の意味はここ20年ほどで使用されなくなりはじめている。一度発生した日本語の意味が、時の変遷に合わせて廃れはじめている。もしかすると今後、時の経過に合わせて、元々の（Ⅰ）の意味ひとつに戻っていく可能性もあり、非常に興味深い変遷を辿っていることがわかる。

6. おわりに

本稿では「遊ばせる」という言葉が持つ独自の発展について調査し、考察を行った。本稿では、「遊ばせる」の意味がどのような経緯で発展したのか、いつごろ派生したのかについて、おおまかに推測することが出来た。

しかし、一方で具体的にいつごろの年代にそれぞれの意味が多く使用されたのかについては調査不足であった。今後は文献をより精査することで、年代毎の使用頻度等についても調査を行っていきたいと考える。また、「遊ばせる」と「遊ばす」のデータの間にも違いが発生していた点についても、一層調査を行いたい。今回の調査を通して、「遊ばせる」

【図1】 意味ごとの使用傾向の推移（年）



⁶ 敬意をあらわす助動詞「せる」を除く。

の意味が近年使われなくなりはじめているかもしれないという点は、個人的に大きな発見であった。2000年以降に重点を置き新たな文献を用いて調査を行う、または実際にアンケート等を取り「遊ばせる」の意味の認知度を調査することで、また新たな発見が得られるのではないだろうか。「遊ばせる」が持つ変遷の歴史を探るため、今後も積極的に調査に取り組んでいきたい。

【使用したデータベース】

NetAdvance JapanKnowledge Lib

<https://japanknowledge.com/lib/search/basic/>

国立国語研究所 全文検索コーパス『ひまわり』青空文庫・国会会議録

国立国語研究所 (2024) 『日本語歴史コーパス』バージョン 2024.4

<https://clrd.ninjal.ac.jp/chj/>

【参考文献】

JapanKnowledge 『日本国語大辞典』

<https://japanknowledge.com/lib/display/?lid=200201d9390fj0J4ux7W>